

事例32 旭化成グループ

東京都

「まちもり」アクション

活動場所

- ・位置……………全国の事業所
- ・フィールドタイプ……植栽パターン

活動の目的

階層構造を持つ植栽を配置した「まちもりポット」を、旭化成グループの全国の事業所緑地に導入し、これまで生物多様性保全の要素が盛り込まれていなかった緑地を、生物多様性保全の視点で価値の向上を図るとともに、継続的に観察や情報発信する取り組みを通して、旭化成グループ従業員の生物多様性保全に対する理解と認識を高めていきます。

活動の内容

- ・全国の事業所緑地に対して、植物社会学的手法による地域区分を行い、地域植生に配慮した植栽を選定した「まちもりポット」を順次導入し、育成していくことで生物多様性保全としての緑地の価値を向上させていきます。
- ・導入に際し「まちもりポット」の生物多様性保全に対する機能、役割、期待される効果等を教育していくことで、従業員に対する生物多様性保全の啓発を行います。
- ・「設置」「観察」「発信」「発展」の各ステージにおいて、それぞれの取り組みを「まちもりポイント」で評価する事で、数値化し見える化するとともに、旭化成グループのレスポンシブル・ケア活動の中で、中長期目標を設定し継続的な活動とします。
- ・この活動をツールとして、地域とのコミュニケーションを深めていきます。

今後の展望

旭化成グループの全従業員が活動を知り、多くの人が興味を持ち、自らが取り組みに参画できるようになるための工夫、仕掛けを考えていきます。

一言コメント

この活動をきっかけに、事業所の所在地の本来の植生を知り、どの様な生き物が事業所に来ているのかを発見して、その地域や事業所の特徴や良さを、親しみを持って従業員が再認識し、地域の方々と共にできる様な取り組みにしていきたいと考えています。

「まちもり®」アクション



「まちもり」アクション啓発ポスター



「まちもり」ポット設置状況



3年後の植栽イメージ

実施体制

事務局：旭化成株式会社 環境安全部
構成員：旭化成グループ全体
連絡先：〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1-2
TEL 03-6699-3052
<http://www.asahi-kasei.co.jp/>